

磐城時報

福島縣磐城郡平町新屋町
印刷 磐城時報社
印刷所 磐城時報社
發行所 磐城時報社
一部金貳圓一月金十圓
廣告料行十字計金五十圓
日刊(日曜)祭日休刊

石城町村長會

今日平町會議室に開會

散會後谷口樓で盛宴

町村長會石城支會總會は既報の備三代議士、井上、野崎、萩原、通り今十二日午前十時から平町石川、草野各縣議、在平日刊記會議室に於いて開會七年度の決算報告、九年度豫算案を附議満場一致で原案を可決、各種事業計畫其の他の協議後正午休憩して再會、役場吏員互助會の組織に就いて青沼縣町村長會長から詳細説明あり午前引續いて各種の協議を進めた。

祝賀劍道會

明日湯本で

(既報)湯本町役場禮堂の新築落成祝賀會は十三日盛大に舉行され、湯本武徳會では祝賀劍道大會を同町武徳殿で舉行する事に於いて恒例の大新年會を開いた。

町民大會開催か

金澤所長排撃の烽火上る

四倉築港問題悪化

(昨報)紛糾途に表面化し金澤所留場に土砂流入して現在僅に水長の排撃にまで進展した四倉築港一米足らずに埋まり船溜り全港問題は今日午後一時から不能に陥つた結果同港へ陸上同町漁業組合に於いて期成する漁獲物皆無となり江名、中同盟會を召集今後の運動方針其の作港、小名濱等に廻港陸揚の他具體的の協議を進むることである現状でこれが爲め鱒漁はあり近く町民大會を開催してけで損害約三萬圓に達し今冬期金澤所長の交渉要求を決議全町漁業の損害約五六萬圓と目され民の名を以て縣當局に該決議に至つた結果遂に當業者のみを突き付る筈で今後の進展を注ならぬ一般町民の奮起すること目されてゐる。即ち工事監督のとなつたもので組合當局は鬼術にある金澤所長の誤謬により一角一般町民の排撃は可成に熾在來三米余の水深あつた同港船のものあり容易に解決は困難と

困つた問題

新妻町長談

(別項)四倉築港所長金澤技師の排撃問題に就いて十二日町村長會列席の爲め來平した新妻町長「困つたものです、何んとか纏めたいと從來私共が可成奔走したのですが今日となつて決算其の他の協議ある筈。」と語つてゐた。

新春撞球大會

本社並に平撞球場主催で

地方撞球ファン待望の本社並に平撞球場共同主催新年撞球大會は愈々來る二十一日午前八時から平町平撞球場に於いて開催する事に決定競技方法其の他決定の上近日中に正式発表を爲すが多数の参加申込みあり各地名選手大體の揃つてゐる。天狗連の出場多し盛會を豫想するに難くない。

金馬簾二條授與さる

功勞顯著の小名濱消防

小名濱町消防組では昨年末全組部長から金馬簾二條を授與功勞員一致して用水池の設置を始め顯著なるものとして表彰された撤水自動車の新設、小學校々庭が金馬簾二條の授與は稀れた事の整備、同町警部補派出所巡査である。

燕若丸來演

平町聚樂所では十三日、十四日二日間浪遊演劇「燕若丸」が上演するが出演者

就役労働者の托兒所を開設

町營グラウンド設置の...

湯本町の新しい企て

東北最初の町營グラウンド設置を面から賞讃されてゐる。計畫した湯本町では既に去月來工事に着手連日百二十名の失業労働者を總動員して工事を急いでゐるが、最近附近炭礦方面の異常な活況に刺戟されて町内に充満してゐた失業労働者群も漸次影をひそめ現在僅に三十名程(既報)東京二本堤署に逮捕四倉酒屋柳家こと金須徳次郎方に登り八日身柄を引渡された酌婦櫻崎相手に飲め...歌へ...度には減少出役人夫の不足に悩ん

酌婦斬犯人送検

殺人未遂で起訴收容さる

茨城生れの白田光夫

殺人未遂で起訴收容さる。白田光夫(二)と大騒してゐる二十五才田舎酌婦櫻崎相手に飲め...歌へ...度には減少出役人夫の不足に悩ん

豪遊の巻

懐中は無一文

豪遊の巻。懐中は無一文。約百本以上とあつては堂々たるもの...三位は春の家で玉よしと肩を並べてむしるそれ以上に出でた此の家だけに當然...昨年中第一位を占めた住吉屋本店が第四位に墮落したと言ふものは依然として首位に乘し出すものと期待される。未廣、壽遊亭、大貞が此れに續いてゐる。ところで肝腎の藝妓屋の方は愛助、政榮、金龍、月丸、茶目と五人揃えた玉川が第一位で

平花街の初行司

平町景氣のバロメーター

平町景氣のバロメーター。平町花街の初行司を覗いて見る料理店の上り玉高は豫想通り連日の大宴會續きで「谷口樓」が第一位、此れに迫つて「玉よし」の第二位は驚異的の躍進振りである第三位との隔り

本村病院

電話一四六番

鐘樓建設

十四日落成式

勿來町では町民に時の觀念を普及せしむる爲め同町小學校庭の一隅に鐘樓を建設する事になり豫ねて工事中であつたが此の程竣工したので來る十四日午前十時から盛大な落成式を舉行する

重ねくの違反行為で 東部電力戒告せらる

怒った逓信當局

(下)
此の内東部電力が尤も甚しい違反行為であった。東部も一時お多聞に洩れぬ業績不振から之が挽回に社内整理を断行し資本関係で社員の入替をやり、一方業務擴張を断り業務重役の積極的政策は着々昇るに至つたが、破竹の勢へは遂に軌道を脱して暴進せしめ結果は同業者の徳義と人情を無視して終ひ業界攪亂の異端者として畏怖されたのである、その最も極端なる事例として昨秋南逓信大臣の査定に依つて公平な判決を下された入山採炭を繞つて日立電力との供給電力争奪である。(この真相は追つて次號に詳報)東部は入山との契約に依り必ず自社の勝利と過信し、一方安値に反対はないと逓信省の認可を盲信して何等の諒解を得ずして建設したのが新町より入山に至る哩六萬三千グオールドの特別高圧送電線で工費約千三十五萬圓を要した、然るに前述の逓信大臣の査定では東部の獨占供給はまかりならぬと通告された、茲に於て東部電力は非常に狼狽して供給不能に依る莫大な工費を投じて建設した折角の特高線は不用となり、その上撤回でも命ぜられたらそれこそ泣面に蜂である急據幹部をして主務省に諒解運動をして漸く送電認可だけは得たのであつた。斯如く業界攪亂に等しき遺口と脱法行為に對して逓信當局は非常に感情を害してゐるに拘らず、又亦東部は昨夏六月から無許可の下に三春町所在東洋化学工業株式會社と電力供給を結び一萬グオールドの特高圧送電線を建設して一千キロ時宛を五ヶ月間密かに送電してゐた事實を當局の調査に依り

発見された、この再度の違反行為に流石の當局者もかしくと激怒して直ちに當の責任者たる東部電力橋本社長を呼び付けて散々油を絞つた上に將來の保證約束までしたといふ。

クボ田石油發動機
電気機械 正金商會
修繕販賣
平町字七丁目
電話三九〇番

二葉印刷所

平町仲町・電話一九三番

磐城名産 干やなぎ

御土産用
いか鹽辛。鱈鹽辛。鱈節
平町土橋
鈴藏魚店
電話六六二番

化粧品、理髮器具一式

クリーム、ポマード……ハカリ賣り



芳香園理髮器具店
平町前(電話六八〇番)

土地賣却廣告

- 一、平町字大町十番地 宅地五百六十四坪 (分譲致します)
- 一、同 五番地
- 一、同 宅地三百七十三坪四合 (同上)
- 一、同 五番地ノ二
- 一、同 宅地百五十四坪 (同上)
- 一、同 宅地新川町三十三番地
- 一、同 宅地百九十三坪三合 (同上)
- 一、同 十七番地
- 一、同 二百九十一坪 (同上)

右至急賣却致します
御希望の方は左に御相談下さい
平町字大町四番地
中野勇吉
電話一三三三番

貸切車の御用命の際は

是非電話六四〇番 尼子タタ

新車も購入致しました
平町二丁目
電話六四〇番

十全の……豆炭

▲十全の豆炭は理想的家庭燃料で代價は木炭の三分の一
▲火持のよい事木炭の五倍です
▲二十個の豆炭をコンロに入れ消し炭とまぜて火を起し二升の飯を煮き上げて煮物、燗物、吸物をこしらへお茶を沸かし
▲あとの火を三個の火鉢にとりわけて一夜を暖かく家庭の閉鎖に送り……
▲残り火をお炬燵に分配して明日のお煮過ぎまで夜具をあたためます。

豆炭販賣の元祖
菅野屋商店
平町四丁目 電話一五七番

藤田女學校校長飯島彌助殿

病氣療養中ノ處本月十二日午後一時逝去
被成候間此段謹告仕候
昭和九年一月十二日
福島縣平町
藤田女學校同窓會

吸入用酸素

純度 99%

体温器 寒暖計

飯島彌助儀病氣療養中ノ處本月十二日午後一時死去致候間此段謹告仕候
追て來一月十四日午後二時自宅出棺天理教會墓地ニ於テ神式ヲ以テ葬儀執行可仕候
昭和九年一月十二日
福島縣平町四丁目

親戚
飯島 藤 齋 島 田 島
榮 榮 榮 榮 榮 榮
助 子 衛 郎 郎 郎 郎 郎 郎
友 人
飯 島 齋 齋 齋 齋 齋
青 山 沼 崎 崎 崎 崎
總 代
平 澤 信 通

債券・公債兩替金融

多田井質店
平町大工町 電話五九一番

寫眞 材料一式
秤ノ取緒・鉦系・修覆致シマス
關内藥局
電話四〇番